

# ぶな

2024年12月号

NO.549



滋賀県勤労者山岳連盟 比良雪稜会

## 巻頭言

### 劔岳と長次郎谷

〇島 裕

最初の出会いは入社数年後、先輩から劔へ行かないかと誘われ即断、10月中頃だったので室堂まで車窓の景色は錦のジュウタン、紅葉真盛りで大感激。翌朝室堂出発、1時間程登った頃下山グループから上は雪で危険と言われ即断念、錦のジュウタンの中を美女平まで歩く、それでも大感激の1日でした。

そんな話を友人すると今年の山登りは劔岳、劔平からは混雑が予想される為祖母谷から旧日電歩道を通り長次郎谷からと決定。3日目真砂沢のテント場から登頂へ、長次郎谷に入ると直ぐに雪渓現れその景色はヨーロッパアルプスの様、男2人大感激、天気良し、風なしで2人はウキウキの登山である、熊岩を左折し頂上を正面に見る頃から状況は一変、傾斜が急勾配である、どうする、どうすると言い合いながら、ジグザグに登る、この時はアイゼンなし、ピッケルなし、ザイルなしの馬鹿者2人でした、偶然にも錆た棒2本を拾う、棒を頼りに又ジグザグ登山、突然上の方から声があり、足場を作からそこを登りなさいとの声掛け、上を見ると階段状ルートが出来ていた、感謝、感謝である、下山者がいたとは全然気が付かなかった。反省大の初登頂でした。2回目は劔平から黒四ダム目指す事に、今回は準備万端、登頂も雪渓歩も順調、但し地獄は最後に待っていた、下から見上げるダムは大迫力、大きく、高い、へトへトに成り、まさに精魂つきて頂上へ辺りは真っ暗で人の気配なし、テントを張る場所も無ければ気力もなしたただ階段に寝袋を敷いて横になる。この時に食べた雑炊がとても美味しかった、後に紅白歌合戦でダムからの中継がありこの2回の山行をサカナに何度杯を交したか、しかしその友はもういない。

3回目はこの景色を後輩に見せたく劔平から祖母谷へ、1回目の逆コースすべてが順調、彼も大感激、祖母谷で見た人工衛星が今も記憶に残る。

4回目は単独行、当時孤高の人加藤文太郎に憧て、時々登っていた、小説一冊と角瓶ウイスキーをリュックに入れ、熊岩手前右側の岩場で2泊、昼間は登山者を見ながら小説を読み優雅に1人酒。下山は小説の筋書通り。我が人生最高のひと時だったかも？ 5回目は同僚と劔平から祖母谷へ、なんと長次郎に雪渓がない、熊岩辺りまでは予定以上、その下の雪渓は痩せ細って、危険で歩けないオッサン2人の彷徨、夕方に成りその場でビバーク、翌朝は下山を断念し再び劔の頂上を目指す、2度目の登頂である、下山はどのコースか記憶にないが、富山で焼肉を奢らされたのはしっかり記憶している。6度の登頂、これほど回数登った山は他にない、岩にはいつくばっての登頂とその達成感、岩と雪渓と青空の抜群のロケーション、都度違った姿で私を迎えたくれた魅力一杯の不思議な山。その時は苦しさの連続であったが、今思えば1番楽しかった思い出である、劔岳そして長次郎谷、私の一番好きな場所です。

## <目次>

【巻頭言】	1
【目次】	2
【例会山行案内】	
忘年山行・大文字山 12月21日(土)	3
初詣山行 愛宕山 1月5日(日)	4
【例会山行報告】	
登山祭典(秋の公開野点山行)	5
深坂古道・新道野	7
比良山系の飲み水水質検査、放射線測定	9
ファーストエイド講習会	11
生駒山	14
【部会報告】	
第8回 運営委員会報告書	12
忘年会のお知らせ	18
2024年12月予定表	19

【表紙写真】 場所：高取城跡 2023 撮影：K原

## <例会山行案内>

### 忘年山行 大文字山



忘年会前、ゆっくりのんびり大文字山に登りませんか。  
お天気良ければ、眺めの良い火床でコーヒータイムしましょう。

**日程：2024年12月21日（土）**

行程：JR山科駅 9:00 集合～後山階稜～B尾根コース～経塚山～大文字山（昼食）～火床～太閤岩（時間あれば）～霊鑑寺～哲学の道（南端）～蹴上駅 14:30 解散

レベル：体力★☆☆☆☆ 技術★☆☆☆☆

帰路、入浴希望される方

- ① 京阪三条駅から徒歩2分「孫橋湯」15:00～ ￥490  
左京区法林寺門町 36
  - ② びわ湖浜大津駅から徒歩2分「湯トピア きりしま」15:30～  
￥450 大津市中央1丁目 7-27
- 和邇忘年会会場に 17:50 頃には到着して頂くようお願いいたします。

装備：弁当・飲み物・雨具・行動食・地図・ヘッドライト  
その他日帰り登山装備

申し込み先：T 中 K 子

申し込み締め切り：12月15日（日）

中止：前日午前中の予報で降雨・強風の場合は中止とし、13時までにはメール連絡します。

## 例会案内

### 初詣山行 愛宕山

愛宕さんへ初詣に行きましょう

「来年も元気で山に登れますように

雪稜会の皆さんが健康で幸せでありますように」

(日時) 1月5日(日) JR 嵯峨嵐山駅 8:33 集合

(コース)

バス停野々宮 9:03 = 清滝バス停 9:15 ~ 愛宕山登山口 9:30  
~ 水尾別れ 11:30 ~ 愛宕山山頂(12:00 ~ 13:00) ~ (ピ  
ストン) ~ 清滝バス停 15:20

(担当・申込先) CL H池

(締め切り) 12月29日

(難易度) 体力★★ 難易度 ★



## 〈例会山行報告〉

### 登山祭典（秋の公開野点山行）

行先：朽木 白倉岳

日時：2024・10・27(日) 天気：曇り

参加者 一班：会員5名・一般6名 計11名

二班：会員5名・一般7名 計12名

三班：会員5名・一般5名 計10名

四班：会員5名・一般5名 計10名

会員19名 他会1名 一般23名 合計43名

コース 堅田駅西口 7:05＝小野駅 7:15＝和辻駅 7:20＝道の駅妹子の郷＝朽木栃生  
バス停 8:18 着・準備運動・出発 8:37～南岳 11:27～中岳 11:51(昼食・野点)  
中岳 出発 13:00～白倉岳 13:16～村井分岐 13:57～松本地蔵 15:39～村井  
バス停 16:30 着・村井バス停 出発 16:48＝道の駅朽木新本陣＝堅田駅西口  
＝小野駅＝和辻駅

夕方から雨の予報の中、降雨を心配しつつも開催されました。各地から集まってくださって、大人数でのバス移動は普段の例会以上に高揚感があります。

朽木栃生到着後、バス停前の栃生区の広場をお借りして装備分担と丁寧な解説つきのストレッチをしてから 8:37 各班別に山に向かいました。安曇川の美しい流れを眺めながら栃生橋を渡って登山口に入るといきなり急登が私達を迎えてくれました。

白倉岳は 南岳・中岳・白倉岳の3つのピークから成り、白倉連峰とも呼ばれる。まずは標高553mまでかなり険しい登り道、登り切ると一旦緩やかになりほっとしたのも東の間さらに南岳(941m)まで登りの連続(3時間かかりました)。南岳近くから大きなブナの木が現れ出し、雰囲気のある森となる。

南岳からはやや緩やかな尾根道となり 11:51 に中岳に到着し、昼食と野点を楽しみました。“お抹茶が格別においしい！”との声が聞こえる。中岳には伏条台杉と言われる芦生杉の巨木がありとても見応えがあります、メンバーの何人かはその杉に登れるほどの元気が残っています。



中岳にある台スギ(巨大なアシウスギ)



恒例の野点風景

野点と班毎及び全員集合写真の後、最終目的の白倉岳(950m)へ、さらに登り下りが続く。



白倉岳 13:16 到着、そこからは烏帽子岳の脇をたどって村井分岐へ向かいます。村井分岐からヤママップには破線でしか書かれていない道を下って村井集落を目指しました。登った分だけ下って行かなければなりません。緩やかな山道をひたすら下ります。行けども行けども標高が下がらないのも辛い。最後は足が攣ってしまい、皆さんのペースを落とす原因になってしまいました。一緒に付き添ってくださったり、薬やお湯まで分けてくださって有り難うございました。

色づき始めの木々もありましたが、ブナの黄紅葉はこれからというところでした。山中には色々なキノコが沢山生えていましたが判別出来ないの素通りです。熊が杉の皮剥した跡も各所に見られました。秋真っ盛りの日曜日なのに誰一人出会う、当会貸切の静かな奥山の魅力あふれる山でした。村井までの破線でしか無かった道を 40 余名が下ったのでヤママップに新たなルートが刻まれたのではと次の地図を眺めるのが楽しみです。

下見山行された結果、当初想定より時間が掛かるので、明るい内に下山終了するために予定を 30 分早めての開催となりました。時間短縮のため「参加費はバス乗車前に集める」「野点の際、昼食と並行してお湯の沸かし直し等の事前準備を進める。今回は参加会員が少ないため各自いつもより多めにお湯を持参する」などの対応策を行い、ほぼ想定どおり順調に下山出来ました。事前準備して下さった役員の方々には大変お世話になりました。 記：N 久 写真：K 原



<例会報告>

## 深坂古道、新道野

日 時：2024年11月3日(日)

参加者：CL H史、SL I井、SL T中啓、S田、H浦、K原、N村久、  
F川、Y口弥、Y崎、N野、T中利、H部美(記録)

のんびり、ゆったり古道歩き お天気も良く楽しい山行になりそうです。

〔7:00〕和邇川河川敷に集合、4台の車で出発 〔8:30〕塩津神社に立ち寄る  
以外にひっそりとした古社でした。

〔9:00〕国道沿いに「深坂古道」のカンバン、3台の車を新疋田駅までデポ

〔9:40〕深坂古道入口出発、深坂古道とは近江・塩津と越前・敦賀を結ぶ古道です。

整備された道を行くと石畳になり30分ぐらいで「深坂地蔵」に到着、お堂の中に  
大きなお地蔵様が鎮座、その前で小休止。

〔10:20〕深坂峠いよいよこれから古道と思いきや右側に「新道野50分」の看板、  
その道に沿って歩くこと30分で山頂らしきところに小さなカンバン「新道野44  
8m」そのカンバンをもって本日の集合写真 “はいチーズ” 横に四等三角点。

〔11:10~11:45〕風の当たらない場所で昼食タイム。

古道に戻り紫式部が父藤原為時とともにこの峠を越えた時の歌  
塩津山とゆう道のいとしげきを賤の男のあやしきさまどもして「なおからき道なり  
や」といふを聞いて

知りぬらむ ゆききにならず塩津山 世にふる道は からきものぞと

(大意)塩津山という道が草木が大変茂っているので輿をひいて荷物を運ぶ人足が誰も  
みすばらしい姿をして「やはりここは難儀な道だなあ」とゆうのを聞いてお前たち  
もわかったでしょう いつも行き来して歩き慣れている塩津山も 世渡りの道と  
してはつらいものだと言う事が と歌と一緒に説明が付いていました。

紫式部 自分は馬か駕籠？なのに少し上から目線じゃ～ん。

小さな沢を数回渡り、少し色づいた紅葉の中を歩いて眼前に岩籠山の勇姿を観て  
〔12:30〕ここで古道は終了。

舗装された道を10分ほど歩き新疋田駅ギャラリーで登山口の車回収を待つ。

その後時間があるので『疋壇城址』によって〔14:30〕解散。

短い距離で少し物足りないコースでしたが「大人の遠足」と言うことで ありがと  
うございました。(H美記)



<一口感想>

『久しぶりの山行でした。左手首のケガで3か月余り山とは無縁の生活をしていたので、体力面で不安でしたが、皆さんに暖かく迎えていただき、楽しい登山になりました。ありがとうございました。』 T 中利

いにしえに想いをはせながら木々に囲まれた美しい古道を満喫しました。帰りに寄った疋壇城は石垣が残っており二段になった天守跡も見応えあり！でした。また城の麓にある愛発船川の里資料館で江戸時代には敦賀から疋田まで水運があったことを知り、深坂古道や愛発の関などこの地が交通や物流において重要であったかを実感することが出来る山行でした。配車、行程など考え込まれた計画のおかげで、とても意義のある例会に参加出来て嬉しく思いました。 N 久子

前日の悪天候が嘘のように爽やかな快晴になり深坂古道に。紅葉は少ししかありませんでしたが青空に緑の樹木が映えて気持ち良く森林浴を楽しめました。疋田舟川の運河遺跡も趣がありとても良かったです。しんどくなくて楽しい山行でした。 H 浦

紫式部も歩いた「深坂古道」は越前と近江を結ぶ古来から賑わった主要道路です。多くの歌碑や遺跡などに触れられた楽しい山行でした。しかし、帰りの3連休中の大渋滞でぐったり疲れしました。 N 野



(新道野)

第25回 比良山系飲水水質調査  
 第10回 放射線測定山行 2班 報告書

日時 11月9日 (土) 晴

参加者 CL 近藤 SL 藤野 (側定) 山口 (記録)

7:00 和述川河川敷集合 15:50 解散

7:30  
 イン谷口トイレ前駐車場

放射線の測定

1分おきに5回測定する。  
 この辺は紅葉が遅れている。  
 少し歩くとかつらの木の甘い香がする。  
 作って有る橋が少しくずれている。  
 この辺はきれいに紅葉していた。  
 若いグループに追いつかれた。  
 琵琶湖がきれいな雲海に覆  
 まれている。

7:56  
 大山口 側定  
 9:13  
 かもしか台 側定

10:38  
 北比良峠 側定

ながめが良く美しい。

11:12  
 八雲ヶ原水場 側定  
 採水

ゆっくりと昼食を取る。

13:00  
 金萁峠 側定

写真もとり、岩がゴロゴロしてい  
 るのでゆっくりと下山する。

14:25  
 正面谷 湧水 側定  
 採水

多くの人々が下山してくる。

15:15  
 イン谷口バス停 側定

すべて終了した。

---

今年ルートが短くて、気持ちにゆとりが有り  
 楽しい山行に成った。比良山は紅葉が  
 進んでいて美しかった。

報告：Y口

## 登山道の放射線汚染マップ作成のための測定記録票

日本勤労者山岳連盟・比良雪稜会			
測定山域名 滋賀 県 比良山系		登山口及び登山ルート イン谷～八雲ヶ原～金糞峠～正面谷～イン谷	
測定年月日	2024 年 11 月 9 日(時間帯	7:30～15:15	の間) ①晴 ②雨 ③曇 ④雪
測定者氏名 連盟・会名 滋賀県連 比良雪稜会 藤野健太郎		記録者氏名 連盟・会名 滋賀県連 比良雪稜会 山口弥生	
測定参加者名 ( 近藤ひろみ )( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )			
測定機種 ①HORIBA PA-1000 Radi ②			
	標 高/ 登山口から 分	北緯/東経	測定結果(μ Sv/h)
			測定した場所はどこのようなところか (休憩場所・沢や水の流れの近く・落ち葉が堆積しているなど具体的に)
1	標高m 253 登山口から 測定時間 15:15	北緯 35° 14' 12 東経135° 55' 52	地表 1m 0.089 イン谷口バス停 二股に分かれるアスファルトの車道
2	標高m 311 登山口から 測定時間 7:30	北緯 35° 14' 20 東経135° 55' 34	地表 1m 0.100 イン谷トイレ前 土の駐車場横の舗装道路上、谷
3	標高m 404 登山口から 測定時間 7:56	北緯 35° 14' 30 東経135° 55' 17	地表 1m 0.170 大山口 川横、足元は土と石
4	標高m 704 登山口から 測定時間 9:13	北緯 35° 14' 46 東経135° 55' 12	地表 1m 0.123 カモシカ台 木々に囲まれたやや開けた休憩所、土
5	標高m 984 登山口から 測定時間 10:38	北緯 35° 15' 11 東経135° 54' 49	地表 1m 0.104 北比良峠 広い峠、草地、枯れた松の横
6	標高m 922 登山口から 測定時間 11:12	北緯 35° 15' 30 東経135° 54' 36	地表 1m 0.075 八雲ヶ原水場 湿原横林の中、テント場、小さな流れ
7	標高m 896 登山口から 測定時間 13:00	北緯 35° 15' 51 東経135° 54' 23	地表 1m 0.127 金糞峠 木々に囲まれ、足元は土
8	標高m 455 登山口から 測定時間 14:25	北緯 35° 14' 33 東経135° 55' 6	地表 1m 0.179 正面谷湧水地 谷沿いの道 大きな岩があり、周りは林

※1番イン谷バス停は、行きに忘れたため、帰りに測りました。



## 報告

### ファーストエイド講習会

日時：2024年11月10日（日）9:00～16:30

場所：皇子が丘公園

参加者：K藤、S水、N村友、N野(比良雪稜会)、他23名(他会及び一般参加者)

講師：S本氏

山の環境を前提としたケガや病気の応急手当から救助要請までをどのように行ったらいいかについて、元消防局隊長で山岳救助隊員や野外救急法指導員として活躍中のS本氏から、約6時間30分に亘って座学と実技の講習を受けた。

座学に関しては①位置情報の把握と緊急通報 ②傷病者の観察 心肺蘇生法・止血、傷の処置、ケガの固定 ③低体温パッケージ（保温）、熱中症の処置、病気の対処法 以上について講義を受けた。

実技に関しては、救助シミュレーションを2人または3人一組となって、傷病者と救助者に分かれて実地訓練を行った。

座学で印象に残ったポイントについて、報告する。

- ・救急システムでは救命の連鎖として、予防→通報→一時救命処置（心配蘇生）→二次救命処置（救急隊による病院への搬送）が繋がれば命が救われる。
- ・山での通報は低山では119番、高山では110番で、登山口名、標高、緯度（日本では北緯）と経度（日本では東経）を報告。ジオグラフィカが最も詳しい位置情報を知らせるのに優れている。通報時に年齢、性別、ケガの原因を必ず知らせる。
- ・傷病者の意識レベルとして、①問題なし ②意識あり ③意識がおかしい ④意識無し→命の危険が切迫に分けられる。

傷病者に慌てて近寄らない。まず、ジオグラフィカなどを開きスクリーンショットをとる。これより位置情報と救助開始時間がわかる。感染予防のためにゴム手袋をはめ、急がず歩いて救助に向かう。

- ・救助隊到着までに実施する応急処置。意識があれば、保温・エネルギー摂取・止血・固定して搬送。意識がおかしい場合は横向きに寝かせる。意識が無い場合は横向き・保温・止血と固定し、30分ごとに体温低下を防ぐ為に体の向きを変える。
- ・野外での効果的な心配蘇生法。先ず緊急通報を行う。次いで、心肺蘇生は出来る限り平らな場所で行い、心肺蘇生法は可能な限り人工呼吸も同時に行う。一人2分程度で交代して行う為、出来るだけ多くの人数が必要。
- ・AEDは心室細動を取り除き、ショック後の胸骨圧迫により心拍回復の可能性を高

める。但し、全ての臓器が完ぺきな状態で無ければ効果なし。

- ・頭部外傷の場合、意識に変化があれば質問を続ける。名前は？→ここはどこですか？→何をしていましたか？→今日は何年何月ですか？→チカチカする光が見えませんでしたか？脳と脊椎に損傷があれば、嘔吐への対応で横向きにして保温する。
- ・骨折の種類は高齢者では手首の骨折、足首・足の付け根の骨折、腰の骨折が多い。骨折の処置で固定する場合は上下の関節を含めて固定する。固定にはスプリントや牛乳紙パックの使用が有効。三角巾は他の用途にも使える為、他の物を代用するほうが良い。
- ・低体温症の処置は甘いものを摂取させて保温する。進行した場合は搬送と保温。熱中症の処置は体温を下げ、糖分や塩分を含む水分を摂取させる。

実技では傷病者役は登山中の事故で打撲したりケガをして出血したり、救助者役はその治療を行った。また、登山中に脳梗塞や心筋梗塞を起こした場合の対処方法についても実技で訓練した。

今回実施した「ファーストエイド講習会」は山行中の事故の適切な対処法を学ぶという非常に有意義な講習会であった。来年も続いて実施する予定ですので、高齢化が進む比良雪稜会の会員の方々は出来るだけ参加するよう希望します。

(N野)

《一口感想》

ファーストエイド講習会に参加してよかったです。話を聞くだけでなく、傷病を救助するシミュレーションはいい経験になりました。また講習会に参加したいと思います。

(N友)

傷病者の状況把握、実際には動揺していてちゃんとした判断が難しいだろうと思う。しっかりチェックして対処していくこと、自分一人で対応するのは判断が難しく不安だなと感じた。荷物は出来るだけ軽くしたいと思ってしまうが、そこにあるもので応急処置をしないといけないことを考えると救急袋の中身も検討しないといけないなと思った。実技盛りだくさんの研修。女優のように？傷病者になり切って頑張りました。(S水)

(講習会資料の URL)

<https://www.youtube.com/watch?v=jB00xOjfrw>



ファーストエイド講習会の  
座学と実技の様様



## 「例会山行報告」

### 生駒山 642m

日時 2024年11月17日(日) 曇り

参加者 CL(救急)N尾、SL(写真)N野、会計H浦 N村久、T中利、O村智、I井、S水、N村友、Y崎(記録)

行程 集合 近鉄京都駅改札口 7:15 天理行き 大和西大寺乗り換え 8:40 枚岡駅下車枚岡神社 8:50 →9:15 額田山展望台→9:55 タタラ山(479m)→10:50 鬼取山→11:00 生駒山(642m)→11:25 駐車場→12:00 暗峠(450m)→12:15 府民の森(ぼくらの広場) 昼食 12:45 出発 12:50→大原山(522m) 13:05→横峰山(474m)→13:14 鳴川峠(397m)→13:55 千光寺→15:10 元山上口駅 →16:50 京都駅解散

曇り空の中、枚岡駅下車すると、目の前は枚岡神社。参拝してスタートする。生駒山は大阪府と奈良県にまたがる山で、大阪側(東大阪)から登る。森の中から、左には時折、大阪平野が見える。一步一步山道を登るが、まだまだ天候は暑い。途中で水分補給と眼下に見える景色の展望を、遠くに見ながら登る。森の中では小鳥がさえずり、足元にはツワブキが満開、そして、透き通った青空と紅葉に秋を五感で感じる体感が嬉しい。長い長い登り道、頭や顔から汗がポタポタで、山頂間際の階段がきつい。山頂にあるテレビ塔が見えてきた。もうすぐだ！山頂にある遊具の「飛行塔」が目に入る。子ども達の歓声も聞こえてきた。

生駒遊園地に到着した。休憩になり、やれやれ一息できた。一等三角点はSL遊具の中にあっただ。これは面白い。紅の色が微妙に違う満開の紅葉の下では、家族連れが記念写真を撮っていた。平和そうな光景を横目に見て、次の目的地に出発。途中、登山者とすれ違いながら下ると、「信貴生駒スカイライン」という看板のある広い駐車場に着いた。遠くに「アベノハルカス」が見える大阪平野が展望されて、振り返ると奈良盆地の大パノラマが広がっていた。ここで集合写真を撮る。

次の目的地は暗峠。スカイラインの脇道を下ると、峠の茶屋があった。石畳の車一台通るのがやっとの、奈良と大阪をむすぶ奈良街道との境界であった。12時頃に通過して昼食をとるため、府民の森に向かう。ようやくベンチで昼食をとろうとしたら、小雨が降ってきた。12時45分に、奈良方面に向け、下山となる。大原山の紅葉を少し愛でてから、横峰山を通過して、鳴川峠に向かって下って行く。すると、昼に降った小雨で、地面が濡れており、一步一步慎重に歩いていく。頭上は緑色のもみじのカーテン、その下を車道が通り、その下にトンネルがある。山道脇にはお地蔵さんがあり、ここが奈良と東大阪の境「鳴川峠」だ。

小さな看板「→千光寺」を目印にして、トンネルを抜けると、しばらくは穏やかな下り道から、湿ったゴロゴロ石がある山道になる。慎重に歩いて下っていくと、

水のせせらぎが微かに聞こえてくる。川沿いを平行に歩くこと約 40 分、麓に千光寺が見えた。急な階段の先は紅葉の絨毯と、其処は静かな境内で女性修験道の寺と宿坊であった。

13時55分、千光寺からいよいよゴールの元山口駅に向かう。細い道を見落とししていたが、仲間みんなでヤママップを見ながら、軌道修正していた。鳴川の静かな集落の小さな橋を渡ると、溪谷沿いに原木シイタケが栽培されてあったり、苔に蒸された石仏が佇んでいた。生駒山口神社を通過する。住宅や商店がある麓の街、元山山口駅に15時10分に無事到着した。生駒山を大阪側から奈良に向かいつつ、紅葉を愛でたり、名所巡りもできたり、15キロで3万歩も歩く事ができた。電車から遠くの生駒山の電波搭列を眺めながら、あそこに登ったんだ！よく登れたなあ！と、達成感で嬉しくなり、暑くてしんどかったけれど、またこんな山に登りたいと思いました。(Y崎)

〈一口感想〉

電車に乗っている時から眩しいほどの太陽。枚岡駅を降りると目の前に枚岡神社の石段。神社、住宅地を抜け登山道へ今回は摂河泉展望(せっかせん)コース。木陰になっているけど暑い。生駒山は思った以上に遠かった。遊園地で休憩している時から曇って来て、府民の森でお昼を取ろうとしたら小雨が降り出し出発時には止む。その後は曇ったり晴れたり無事に元山山口駅に到着。えっ！何の嫌がらせ〜。

(H浦)

11月も中旬過ぎですが、歩いていると暑くて汗が出てくる例会山行でした。紅葉も進んで来ており、枚岡神社や千光寺の深紅のもみじが綺麗でした。15kmの歩行は長く感じましたが、高低差もそれほど無くて、楽しい山行でした。(N野)





## 2024年度第8回 運営委員会報告書

日時：11月5日（火）19:00～20:45

場所：当会事務所

出席：N村高、A本、N野、H野、K林、K藤、N村友、F野（記録）

欠席：I東、H島、K藤、K嶋

### 1. 10/27 登山祭典（兼秋の野点山行）の報告

（1）参加者 ・ 会員 19 名 一般 23 名 他会 1 名 合計 43 名

（2）結果報告（N村高）

下見の結果により集合時間を30分早めた。下山時脚の不具合をした人が2名いたが問題なく下山しほぼ想定通りの時間に下山出来た。

（3）参加費を集合場所で集めたこと、野点の準備を昼食と並行して行ったこと等で時短が出来た。

（4）一般参加者の方が会員より多かったので収支はプラス見込み。

（5）会報に山行予定表を挟み込めなかった。

（6）お干菓子について、和三盆のお干菓子に変更を検討するも 和三盆が高価な事と 調査不十分で今回は従来の落雁とし、次回に改めて検討することにした。

### 2. 飲み水調査・放射線測定について

（1）11月9日（土）に実施予定

（2）参加者 1班：白滝谷登山口湧水方面（N村高）N野、K藤、N村久  
2班：八雲が原方面（K藤）Y口弥、H野（）内はリーダー

### 3. 忘年会の開催について

（1）開催日時：12月21日（土）18:00～

（2）場所：お料理ふじ（藤野食肉食品センター2F）

料理：豚しゃぶ 会費 5,000円（食事代、飲み物代、景品代含む）

（3）司会進行について 出し物、例会参加回数及びリーダー回数上位者表彰 抽選会（景品）

（4）役割：案内、メールによる出欠確認・・・N野  
座席表の作成・・・A本

司会者の人選要

（5）景品の寄付歓迎する。各担当より

### 4. 各担当より

- ・リーダー部（技術アップ）及び遭難対策・・・・・・・・特になし
- ・会計・・・・・・・・特になし

- ・自然保護・・・自然保護集会在徳島である。山友会(県連自然保護担当理事) 1名とK藤氏が参加。
- ・機関誌・・・特になし
- ・労山基金・・・11/6 ZOOM説明会がある。K林氏がZOOM参加。
- ・HP・・・特になし
- ・事務局・・・カモシカ分布アンケート調査が今年も実施される。  
県内で5年以内にカモシカあるいはカモシカの糞を見たら報告。  
事務局より「カモシカ分布調査」のお知らせを会員全員にメール配信。

## 5. 県連報告 (F野)

- 1) 第8回ZOOM理事会を10月2日(水)に実施した。
- 2) ファーストエイド講習会は11月10日皇子山子公園で実施される。
- 3) 山筋ONEDAYサポーター養成講座が12月8日(日)に浜大津ふれあいプラザで実施される。10月末で第一弾の申込締め切り。
- 4) 第1回代表者会議が11/13(水)18:00~実施される。  
その会議で以下の申し入れ及び報告を行う予定。

『清掃登山や登山祭典での一般参加者の労山短期掛け捨て保険の申請に際し、今年度から申込要件で「生年月日」「職業・職種」の記載が求められている。一方、県連の登山祭典チラシには「生年月日」ではなく「年齢」を明記となっているので、次回より「生年月日」を明記と変更するよう申し入れる。「職業・職種」については必要と思えないので、全国連盟事務局へ“不要では?”と連絡を入れたところ、「白紙で構わない。但し、事故発生の場合には必要となる。」との返答であった。』

## 6. その他

- ・夏原グラント助成金の2025年度の申請は行わない。
- ・会報1月号編集班より、1月号原稿の締め切りを12月15日にしたい要望あり。リーダー部会(17日開催)議事録だけは18日締切とすることで了承する。
- ・2025年労山カレンダーは11/13に入荷予定  
申込者は事務所まで。受け取り後料金700円/部を設置の箱に入れて下さい。
- ・交通費は40円/Km
- ・現在会員数39名

☆次回第9回運営委員会は12月3日(火)19:00~実施予定。

以上

会員及び会員家族 会友の皆様へ

## 【忘年会のお知らせ】

比良雪稜会忘年会を下記の通り行いたいと思います。  
大いに食べ、飲み、近況や山談義などに花を咲かせ、楽しいひと時を過ごしましょう。

ご家族も誘ってください。会友の方もぜひご参加ください。

記

日時：12月21日(土) 18:00～

場所：お料理 ふじ（藤野食肉食品センター2F）



大津市和邇高城 22-4（和邇駅より歩3分） tel：077-594-0033

会費：5,000円（食事代・飲み物代・一部景品代等）

- ・料理は プタしゃぶ
- ・酒類の持ち込み、差し入れ大歓迎です！
- ・例会山行参加回数上位とリーダー回数上位の方の表彰を行います。
- ・抽選会も行います。景品は お米・採れたて野菜・山用品などを予定。  
お持ちの山道具などで不要なものがありましたら、ご提供をお願いします。

申込&締切：12月11日(水)までに事務局長へメール返信。

（「近況と来年の抱負」も合わせて返信ください）

以上

“ 皆さんお誘い合わせの上 多数の参加で

賑やかに出来ますように !! ”



## 2024年12月予定表

1	日	例会山行 土山宿～関宿	19	木	
2	月		20	金	
3	火	第9回運営委員会	21	土	忘年山行 大文字山 忘年会 「お料理 ふじ」
4	水		22	日	
5	木		23	月	
6	金		24	火	
7	土		25	水	
8	日		26	木	
9	月		27	金	
10	火		28	土	
11	水		29	日	
12	木		30	月	
13	金		31	火	
14	土		編集後記		
15	日	「ふな」原稿締切			
16	月				
17	火	第6回リーダー一部会			
18	水				
1月の予定					
5	日	新春山行 愛宕山			
今月号と来月号の当番					
今月号は K原(CL)・N村高・N村和・N尾・K保田・S田の皆さんです。					
来月号は S水(CL)・H野・G阿弥・K嶋・N井・O野の皆さんです。					
来月号の巻頭言はN村高さんです。					



## 比良雪稜会

滋賀県大津市和邇今宿 712-1 西村方

TEL&FAX 077-594-0454

E-mail [kazuyo-buna@r.river.sannet.ne.jp](mailto:kazuyo-buna@r.river.sannet.ne.jp)

HP

滋賀県勤労者山岳連盟

<https://aquafoal39.sakura.ne.jp>